



ヨリゴリ博士の 暴投ステーション

マンガ●オガケン

「ウイルス異次元転送機」の巻 119



えっ!?!

師匠がキトクだとオー!?!

まったくもう……これで、10回目のキトクだぞ。

師匠って、博士の先生ですよ?

うむ、私に、天才の発想というものを、教えてくれたんだ。

大丈夫ですか 師匠?

へえ……

もうダメじゃ。もうダメじゃ。

師匠!! たんなるカゼじゃないですか!!

たのむ……そのメカを動作させてくれ……

ウイルス異次元転送機じゃ。

やるのが大ゲサ……

そのメカを使うと、2次元のこのマンガ世界から、別の次元にウイルスを追っ払うことができるのじゃ。

では、スイッチを入れますよ。

さすが天才!

早っ!!

治った!

まあ、とにかくよかったですね、師匠!

うむ、なにしろこのウイルスにかかると……

まずふるえが来てな……

はあ……

マンガなんてとても描いていられんぞ……

え……っ 作者のオガケンにウイルス飛ばしたの……!?!

絵のタッチが変だ…… 大丈夫かな……

うがいもしているし、手も洗っているのに、カゼをひいてしまったのはなぜだ!?

次は熱が出て……

体がだる……

マンガなんてとても描いていられんぞ……

タイツはき忘れてるよおやびん……

ナゼダーマン

コビン

ヨリゴリ博士
時々変なものを作ってしまう天才科学者。

ペーター
博士の助手をしている小学生。